

# SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：令和5年9月15日(金)  
(2023年)

## 地域企業紹介 86 星工業株式会社

### 「自動化でモノづくりの未来に貢献！」

今年、創業75周年を迎えた星工業株式会社の代表取締役である田中裕二社長を相模原市中央区田名塩田の本社工場に訪ねました。

平成20年をピークに日本の総人口は減少に転じ、今後も急激な人口減少が予測されている。特に生産年齢人口の減少は、中小企業にとって大きな課題だ。こうした中、モノづくり企業が抱える課題として「人手不足」「技術承継」「人件費の高騰」そして「自動化の遅れ」があげられる。日本の高度成長を支えてきた製造業が今後もこの国の基幹産業として発展していくためには、これらの課題に真摯に向き合い、対応策を講じていく必要がある。こうした課題を抱えるモノづくり企業のために親身になって取り組んでいるのが星工業だ。

同社は、創業者である松崎正行氏が、昭和23年に「星工業所」を創立したのが始まり。また創業の地が相模原市「星が丘」であったことが社名の由来だ。平成5年、当時専務取締役として会社を支えていた田中紘昭氏(現社長である田中裕二氏の父)が松崎氏より事業を引き継ぎ二代目社長となる。平成28年には、先代紘昭氏と同じエンジニアである田中裕二氏が三代目社長に就任した。創業以来、同社は社会情勢や経済状況の変化に柔軟に対応しながら、一貫して機械装置の製作という事業分野で独自の道を拓いてきた。現在同社は、①産業用自動化省力化装置の設計・製造・販売 ②プラスチック押出成型機装置の設計・製造・販売 ③振動試験機などのOEMを事業の3本柱としている。これまで、ICリードフレーム自動検査機(半導体)、脱酸素剤投入装置・卓上型表裏貼付ラベラー(食品)、PP延伸テープ製造装置(プラスチック)、キュベット分注装置(医療)、錠剤・カプセル回収機(薬品)など、多様な分野で世の中に一つしかない「オーダーメイド」の機械装置を「技術と創意」で数多く作り出している。

オーダーメイドで顧客ニーズに合ったより良い製品をつくるために同社は、①**設計力を高める**：オーダーメイド品は、その7割が設計段階で決まるため、常に設計部門の強化を目指している。②**現場の現状把握**：現場によって、つくる製品や生産工程・キャパシティーなどがすべて違う。工場の現状把握をしっかりと行うことで、自動化で解決したい課題を的確に抽出する。③**原材料の特性理解**：例えば、プラスチック押出成型機の製作では、素材である合成樹脂の特性や知見・ノウハウが製品の良し悪しを決めるため、常に原材料への理解を深めている。④**コミュニケーション重視**：社内では、企画・設計部門、製造・組立部門、販売・アフターフォロー部門間のコミュニケーションを重視、柔軟な意見交換でより良



代表取締役社長：田中 裕二 (たなか ゆうじ)  
所在地：神奈川県相模原市中央区田名塩田 1-13-1  
従業員数：25 名  
資本金：3,000 万円  
事業内容：  
■産業用自動化省力化装置の設計・製造・販売  
■製薬関連装置の設計・製造・販売  
■プラスチック成型装置の設計・製造・販売  
■振動試験装置の製造 (OEM)  
URL：  
：https://www.hoshi-ind.co.jp/



い製品づくりにつなげている。⑤メンテナンスとカスタマイズ：設計図面が描ける担当者が、お客様へ定期的に訪問し、既に納入した製品のメンテナンスやカスタマイズを実施し、お客様の「かゆいところに手が届く」サポートを心掛けている。さらに新たな目線で手作業を見つけ出し、新たな自動化の提案にもつなげている。

長年の業歴から蓄積された機械製作に関する“ノウハウ”を活かし“オーダーメイド”で様々な機械装置の企画・提案・設計・製造を「一気通貫」で行うことができる星工業。まさに多様な分野に果敢にチャレンジして獲得した“ノウハウ”が同社の大きな強みだ。今後も生産性向上による競争力強化を目的として工場の自動化に取り組む企業が増えていくことが予測される中、引き続き、お客様の要望に“期待以上”に応えていきたいと田中社長。

そんな田中社長は生まれも育ちも相模原。市内の小中学校を経て日大三高へ進学、大学は日本大学生産工学部機械工学科を専攻。小さい頃から機械やモノづくりが大好きだったそうだ。大学卒業後、社員200名程度の化粧品会社に就職し、自社内で使う機械を製作する部署のエンジニアとして5年間勤務。その後、先代紘昭氏の強い希望により同社へ入社した。趣味は自転車。走るのも改造するのも大好きだという。これまでに茨城県霞ヶ浦一周 140Kmを8時間、滋賀県の琵琶湖一周

215Kmを 15 時間で走破した経験を持つ。日頃時間がない中、会社のことを考えられる有意義な時間になっているという。もう一つの趣味は「腕時計」。ゼンマイ仕掛けのからくり時計は何時間見ても飽きないそうだ。いずれスイスで腕時計の作り方を勉強して、自分で自分の腕時計をつくってみたいのとか。

様々な製品を作り出すことによって、多くの人々の幸せにつなげるという基本理念を軸に“自動化でモノづくりの未来に貢献”する星工業。今後、田中社長は「創業 100 周年に向けて、星工業にできること、お客様に喜んでもらえることをさらに増やしていきたい」と抱負を語る。時代の変化に柔軟に対応し、製造業をはじめとした日本の産業界全体の価値を高めている星工業の挑戦はこれからもまだまだ続く！



入居企業紹介

87

## 日本とイスラエルをつないで、半導体製造現場をサポート！

ユニロムジャパン株式会社  
／ つくば化工株式会社

半導体製造装置向け瞬時電圧低下保護装置の保守・販売を手掛けるユニロムジャパン株式会社と、半導体関連の試作開発支援に取り組むつくば化工株式会社の2社を経営する矢部朗（やべあきら）社長にお話を伺いました。

平成 31 年（2019 年）2 月にユニロムジャパンを設立した矢部社長。SIC には、同社の設立準備を進めていた平成 30 年 12 月、SIC-1 Startup Lab. のスモールオフィスに入居しました。その後、別事業を行うつくば化工も設立するなど事業の拡大を図り、現在はセミラボに移転して拠点も拡張しています。

長年にわたり、大手半導体製造装置メーカーで半導体製造装置の営業・マーケティングに従事してきた矢部社長。イギリスやフランスで約 7 年間の駐在経験があり、半導体はもちろん、海外ビジネスに関する豊富な知見・経験も強みの一つです。特に、イスラエル企業と太いパイプを持っており、それが縁でユニロムジャパンの設立に至りました。

ユニロムジャパンは、イスラエルに本社を置く「Unirom Electronics Ltd.」との合併会社として設立されました。同社が製造する瞬時電圧

低下保護装置の日本総代理店として、国内での保守・販売業務を担っています。

近年、自然災害の頻発などにより、長時間にわたる停電だけでなく、電圧降下や瞬間停電リスクへの対応も重要になっています。特に、半導体製造工場の安定的な稼働には、高度な電源対策が必要です。同社が扱う瞬時電圧低下保護装置「Uni Cap SRT」は、大容量電気二重層コンデンサーを採用しており、低コストで長寿命、かつ環境にも配慮された製品です。すでに多くの半導体製造工場で導入されており、同社の手厚いサポートにより、イスラエル発の最新技術を安心して導入できる点も評価されています。

一方、つくば化工では、ものづくりソリューション事業やビジネス開発コンサルタント事業に取り組んでいます。ものづくりソリューション事業では、主に半導体製造装置で使用される部品の試作加工を行っています。難削材を含むあらゆる素材に対応可能で、新材質の最適な加工条件を見つけ出します。そのほか、ガス制御ユニットの受託開発や部品洗浄・表面処理等にも幅広く対応しています。つくば化工最大の強み

は、独自技術を持つ多様な製造業とのネットワークです。これにより、構想から設計・製作までを一貫して請け負い、コーディネートすることができます。すでに上場企業から半導体製造装置向けの量産案件を獲得しており、着実に実績を積み上げています。

また、ビジネス開発コンサルタント事業では、欧米やイスラエル企業の日本市場進出サポートや日本企業向けの海外技術導入サポートに取り組んでいます。現在提供している海外技術は、半導体向け非接触搬送、MgB2 超電導ワイヤー、低屈折率接着材・コーティング材、水素発電、など多岐にわたります。

ユニロムジャパンとつくば化工は、半導体の安定的な生産や試作開発を下支えするとともに、日本とイスラエルの橋渡し役も担いながら、これからもグローバルに活躍していきます。

ユニロムジャパン株式会社 / つくば化工株式会社  
SIC-1 Startup Lab. 1207 号室  
<https://www.uniromjapan.co/>  
<https://tkcji.com/>



最新の中小企業景況調査を紐解くと、コロナ禍から景気回復の兆しが見え始めた 2021 年以降、全ての業種で急速に人手不足感が高まっている様子が読み取れます。外国人やデジタル技術の活用など、さまざまな施策が実行されているものの、少子高齢化が急速に進展する中、抜本的な改善の兆しは見えにくい状況です。特に中小企業においては、限られた人財（人材）をどの様にマネジメントし最大限に能力を発揮してもらうかが大きな課題と言えるでしょう。このコラムでは、現代の経営に役立つ新たな人財マネジメントの方向性について情報をお届けできればと思います。

現代主流の人財マネジメント手法の基礎となる考え方は、20 世紀初頭、アメリカの経営学者フレデリック・テイラーが提唱した「科学的管理法」に基づくと言われています。簡単に説明すると、いかに労働者をサボらせず働かせるかという観点から、分業化を進め業務量と成果を徹底的に数値管理するというマネジメント手法です。この手法の拡大は、これまで管理者の主観的な成り行き任せが主流であった人財マネジメントを改革し、様々な産業の生産性向上に大きく貢献しました。一方で、当時から行き過ぎた管理は労働者の自由と権利を制約し、懸命に働くことを半強制する仕組みであるとの批判も受けていました。

昭和から令和へ働く人の価値観が変化する

のに合わせて、人財マネジメントの手法も変化が求められています。ワークライフバランスやウェルビーイングの追求といった価値観が広がりを見せる現代において、従来の“科学的管理”のみでは経営者と従業員の理想のギャップは広がるばかり。また、インターネットの普及により人財市場の流動性がかつてないほど高まっている中で労働者が職場に感じた息苦しさは、離職や採用難という形で会社に跳ね返ってくるでしょう。

では、現代の価値観にマッチした人財マネジメントとはどのようなものなのでしょうか。そのヒントとなるのは Google 社が 2015 年に発表した調査結果です。同社は莫大な資金と 4 年の歳月をかけて「プロジェクト・アリストテレス」を実施し、高い生産性（パフォーマンス）を発揮する組織（チーム）の条件を導き出しました。結論を要約すると、組織を構成する一人一人の個人能力よりも、組織の協力関係が生産性を左右するという。協力関係には、“心理的安全性”を土台としてメンバー同士の信頼関係が築かれ、仕事の役割や意義を理解できていることが必要だということでした。この“心理的安全性”とは、メンバー同士が自身の評価に怯えることなく自由に意見を言い合える関係のことです。

つまり、生産性の高い会社組織づくりにおいては、人財マネジメント制度の設計以前に、

リーダーである経営者を含め従業員同士の“心理的安全性”の確保、信頼関係の醸成が効果的なのです。

持続的に業績の良い企業は、経営者と従業員が一丸となって同じ目標に進んでいます。理想的な人財マネジメントを実現するために、まずは、従業員とストレスのない対話の機会を増やし、将来ビジョンを共有するところから始めてみてはいかがでしょうか。信頼関係の向上のための取り組みが、来期の業績を大きく変えるかもしれません。



湘南労務経営  
代表 奥村 直樹

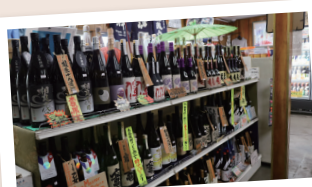
公的中小企業支援機関の現場で 10 年以上にわたり多種多様な企業の創業支援・経営改善支援に従事し、独立開業。「人を活かし、人を育てる経営」の実現をサポートするため、経営が分かる社会保険労務士・労務が分かる中小企業診断士として活躍する。

## ときわや酒店

昭和 41 年創業、相模原市大島で地域の食品店として愛されてきた「ときわや酒店」は、全国の無名良品の地酒と本格焼酎を扱う店として、地元はもとより遠方からのお酒好きが集います。

各地の地酒を取り扱うきっかけは、旅好きの萩原店長が鉄道の車内で飲んだ地酒のカップ酒。その美味しさに魅入られ、出会った蔵元の商品を紹介したことが始まり。店長の楽しみは、お客様の「美味しい」の一言です。

おすすめの地酒を二本試しました。「不動」（千葉県）は、300 年の歴史がある蔵元が生み出す、たくましいお米の力を感じます。「亀の海」（長野県）は、澄みきった千曲川の伏流水と天然井戸水がお米と奏でる豊かな味わいです。まさに店長の話のとおり。美味しい地酒が楽しめます。



無名良品の地酒と本格焼酎



萩原店長



おすすめの地酒 亀の海と不動

【所在地】 相模原市緑区大島2762番地  
【営業時間】 9:30 ~ 19:30  
【定休日】 火曜日  
【TEL】 042-761-9401  
【Instagram】 <https://www.instagram.com/tokiwayasaketen/>

## 相模原市 DX 化促進支援事業

## 中小企業のためのDX勉強会

～ DX・AI の活用に向けたデジタル技術入門～

DX化・AIの基礎とその具体的な活用事例の紹介、簡単な演習も行うことで、参加企業の将来のDX化やAIの活用といった取組に繋げることを目指します。

|     |                          |                                                            |
|-----|--------------------------|------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 10月16日(月)<br>14:00～16:00 | ■DX・AI入門編<br>(総論と関連手法の紹介など)                                |
| 第2回 | 10月23日(月)<br>14:00～16:00 | ■EXCELでの簡単な統計演習<br>■「ChatGPT」への質問や希望する回答を得るためのプロンプト作成演習 など |
| 第3回 | 10月30日(月)<br>14:00～16:00 | ■活用事例、動向等の紹介<br>■参加企業における将来の展望(DX化したい部分など)に対するアドバイス        |

【場 所】SIC-2 会議室A  
(相模原市緑区西橋本5-4-30)

【対 象】相模原市内中小企業(全3回参加できる方)

【参加費】無料

【定 員】10名(申込順)※1社2名まで



お申込みはこちら

詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sic-sagamihara.jp>

## 令和5年9月時点 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

|                |                                                             |
|----------------|-------------------------------------------------------------|
| 令和5年9月12日(火)   | きらぼし事業支援プログラム生産性向上セミナー<br>「トヨタ式カイゼンで生産性アップ!!」 <b>終了しました</b> |
| 令和5年9月15日(金)   | DX化推進フォーラム <b>終了しました</b>                                    |
| 令和5年9月15日(金)～  | 第7期Sier養成講座 開講(～12月4日まで)                                    |
| 令和5年10月5日(木)   | The HINT61<br>「会社を変える、攻めの“ブランド”活用」                          |
| 令和5年10月16日(月)  | 中小企業のためのDX勉強会                                               |
| ・23日(月)・30日(月) | ～DX・AIの活用に向けたデジタル技術入門～                                      |
| 令和6年2月20日(火)   | 経営力アップセミナー                                                  |

## 入居企業を募集しています。

SIC空室情報(令和5年9月15日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

| 部 屋                   | 空 室 数              | 賃料/月額<br>(共益費込・消費税込) |
|-----------------------|--------------------|----------------------|
| SIC-1<br>Startup Lab. | ○セミラボB (31.5㎡)     | 1 108,240円           |
|                       | ○スモールオフィスB (17.3㎡) | 2 70,620円            |

最新の情報はウェブサイトをご確認ください。



## 子どもアントレ協賛 ありがとうございました。



8月10日～12日に開催した「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」は無事終了しました。

特にご協賛いただきました企業の皆さまには心から御礼申し上げます。

## さがみはら SDGs パートナーに 登録されました。



相模原市ではSDGsの達成に向けた取り組みや地域課題の解決、普及啓発に取り組む企業・団体等を「さがみはらSDGsパートナー」として登録しています。弊社も「産業と技術革新の基盤を作ろう」など7つの目標達成に向けて取り組みます。



### 編集後記

ハンディ扇風機を持っている人が増え、今夏は首掛け扇風機を身に着けている人を見かけることも少なくありませんでした。異常気象ともいえる中、ライフスタイルの小さな変化をクールに振り返ると、新たなビジネスアイデアが湧いてくるかもしれません。ただ「暑かった」だけではもったいない!?



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)  
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077  
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を  
お待ちしております。

ウェブサイト <https://www.sic-sagamihara.jp/>